

高知県感染症発生動向調査（週報）

2016年 第34週（8月22日～8月28日）

蚊やマダニに刺咬されないように注意しましょう！

屋外では長袖・長ズボンを着用するなど
肌の露出をできるだけ少なくしましょう。



★お知らせ

☆夏型感染症（咽頭結膜熱（プール熱）・ヘルパンギーナ・手足口病）に気を付けて！

咽頭結膜熱・ヘルパンギーナ・手足口病は夏期を中心に流行するウイルス性の感染症です。

県内全域で手足口病が増加しています。咽頭結膜熱はほぼ横ばいですが、中央西、高知市では注意報値を超えています。また、ヘルパンギーナは県内全域で5週連続して減少していますが、引き続き注意が必要です。

これらの夏型感染症は主にウイルスが含まれた咳やくしゃみを吸いこんだり、手を介して口に触れたりすることで感染します。幼稚園、保育園、学校等の集団生活では手洗い、うがい等の予防対策に加え、タオル・コップ等の共用を避ける等して、感染予防に努めてください。これらの感染症はほとんどの場合、予後は良好です。しかし、まれにですが重症化し、重篤な症状を呈することもありますので、早めに医療機関を受診してください。

○咽頭結膜熱（プール熱）に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第33週の0.80から第34週は0.70とほぼ横ばいですが、中央西、高知市では注意報値を超えています。

咽頭結膜熱は、発熱・咽頭炎・結膜炎を3主症状とし、その他、リンパ節の腫れ、腹痛、下痢などが生じることもあります。

流行時期は夏期で、プールでの感染があることから「プール熱」とも呼ばれます。

感染力は非常に強く、患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスによって感染、あるいは、ウイルスが付着した手やタオルなどの患者が触れたものを介して感染します。プールでは眼の結膜からの感染も考えられています。予防対策は手洗い、うがいを励行しましょう。プールを利用する際は、前後のシャワーを必ず浴び、タオルを他人と共用しないようにし、流水と石けんによる手洗い、うがいをしましょう。

○百日咳に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第33週の0.03から第34週では0.10と急増しています。高知市で増加し、高知県全域と高知市では注意報値を超えています。

病原体検出情報では、*Bordetella pertussis*が3例報告されています。

百日咳は、感染力が強く、軽症でも菌の排出があるため、注意が必要です。

特に生後6ヶ月未満の乳児では無呼吸発作等、重篤になる場合もあるので、予防接種をしていない新生児、乳児がいる場合は特に感染に対する注意が必要です。

予防対策は予防接種、うがい、手洗い、咳エチケットです。感染予防のためにワクチン接種をお勧めします。ワクチンは生後3ヶ月から接種可能なので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く受けておくことをお勧めします。

○マイコプラズマ肺炎に気を付けて！

第34週も基幹定点からの6例に加えて、定点医療機関からのホット情報では17例の報告があるなど、報告数の多い状態が続いていることから、引き続き注意が必要です。

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマによって起こる呼吸器感染症で、幼児期から学童期によく見られます。頑固な咳嗽と発熱を主症状に発病し、中耳炎、胸膜炎、心筋炎、髄膜炎などの合併症を生じることがあります。

感染経路は主に飛まつ感染や接触感染です。保育園や幼稚園、学校、あるいは家庭内等での濃厚な接触で感染します。患者の感染力は発症から10日前後（症状持続の例でも6週間程度）で消失しますが、この間は濃厚な接触は避けるようにしましょう。

予防対策は手洗い、うがい、咳エチケットを励行しましょう。

○ヒトメタニューモウイルス（hMPV）感染症に気を付けて！

定点医療機関からのホット情報で、ヒトメタニューモウイルス感染症が第34週に3例、第33週に5例、第32週に1例、第31週に6例と続けて報告されています。

また、病原体検出情報では、Human metapneumovirusが第33週に1例、第31週に6例報告されるなど、報告の多い状態が続いています。

ヒトメタニューモウイルス感染症は、1歳から2歳に多く、主な症状は、発熱と、咳、鼻水等の呼吸器症状です。通常、一週間程度で軽快しますが、重症化すると、ゼーゼーという喘鳴や、呼吸困難が見られることもあります。

1度の感染では免疫を獲得しづらいため再感染を頻繁に起こすとされています。

有効なワクチンはありませんので、感染予防には、手洗い、うがい、マスクの着用、接触感染対策が大切です。

☆マダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS）に注意！

日本紅斑熱の報告が2例ありました。

日本紅斑熱やSFTS（重症熱性血小板減少症候群）はマダニが媒介する感染症です。

すべてのマダニが病原体を持っているわけではありませんが、ダニに咬まれないようにすることが感染の予防になります。予防するためのワクチン等はありません。まだ、マダニが活発に活動する時期です。引き続き、注意が必要です。

野山や畑、草むらなどに出かけるときは、次のことに注意しましょう。

▲肌を出さないよう、長袖、長ズボン、長靴、帽子、手袋等を着用しましょう。

▲マダニ用の忌避剤を使用しましょう。

▲草の上に直接座ったり、寝転んだりしない。敷物を利用しましょう。

▲脱いだ上着やタオルは、不用意に地面や草の上に置かないようにしましょう。

▲帰宅後は、すぐに入浴してマダニに咬まれていないか確認し、新しい服に着替えましょう。

▲野外から帰った犬や猫はダニが付着している可能性があるため、よく見てあげましょう。

▲吸血中のマダニを見つけたら、無理に引き抜こうとせず、医療機関を受診し処置してもらいましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～2週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。また受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

●高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

●高知県衛生研究所 マダニによる感染症の注意喚起パンフレットを作成しました。

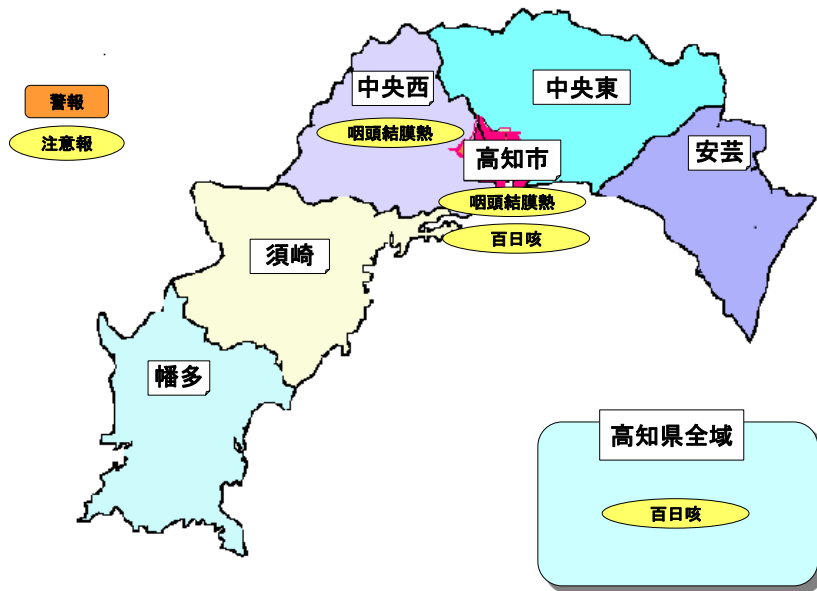
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2016061300063.html>

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減
 34週（8月22日～8月28日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	↘	1.67	幡多、安芸、須崎で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	0.83	中央西、中央東で増加しています。
咽頭結膜熱	→	0.70	中央西、高知市では注意報値を超えています。
ヘルパンギーナ	↘	0.53	中央西で増加しています。
流行性耳下腺炎	→	0.50	中央西、高知市、中央東で増加しています。

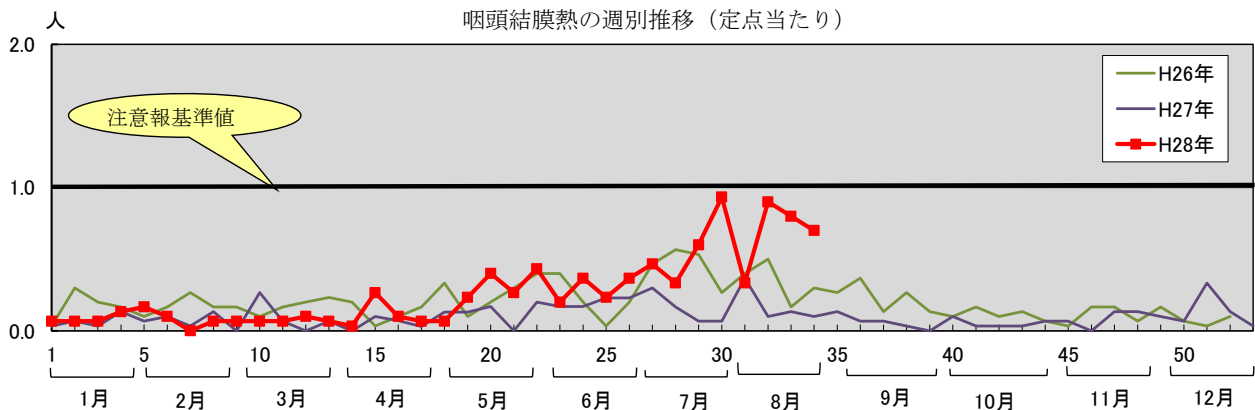
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

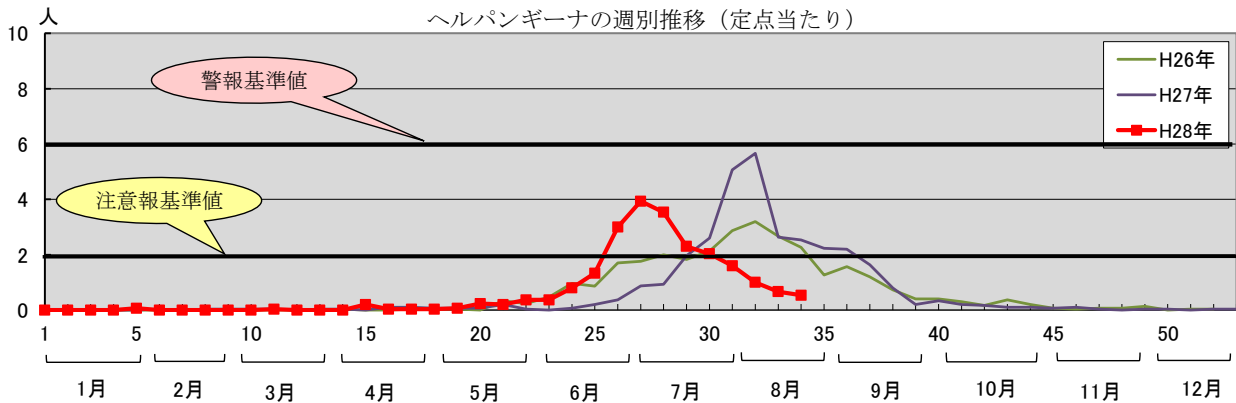
○咽頭結膜熱 第34週： 0.70（注意報値：1.00 警報値：3.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.70（前週：0.80）とほぼ横ばいですが、中央西 2.67（前週：3.00）、高知市 1.18（前週：1.36）では注意報値を超えています。



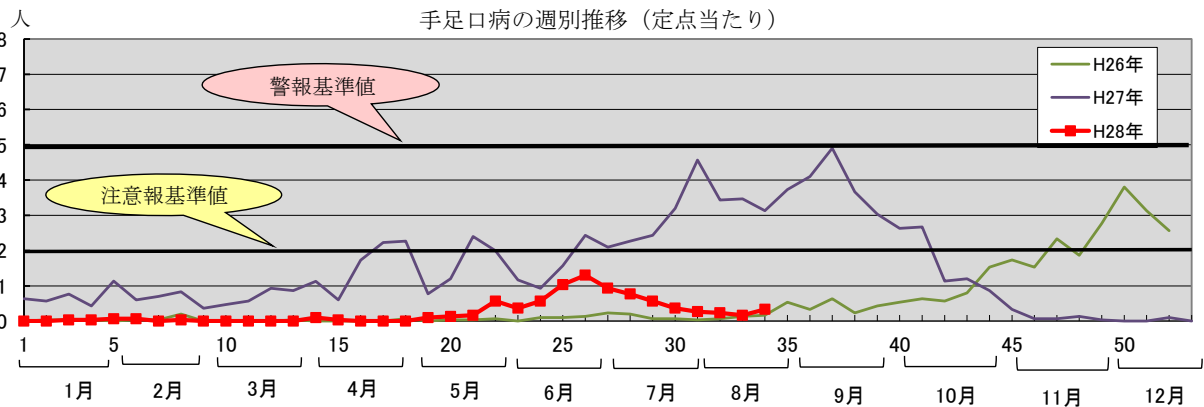
○ヘルパンギーナ 第34週： 0.53 (注意報値：2.00 警報値：6.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.53 (前週：0.67) と減少していますが、中央西 1.67 (前週：0.33) で増加しています。



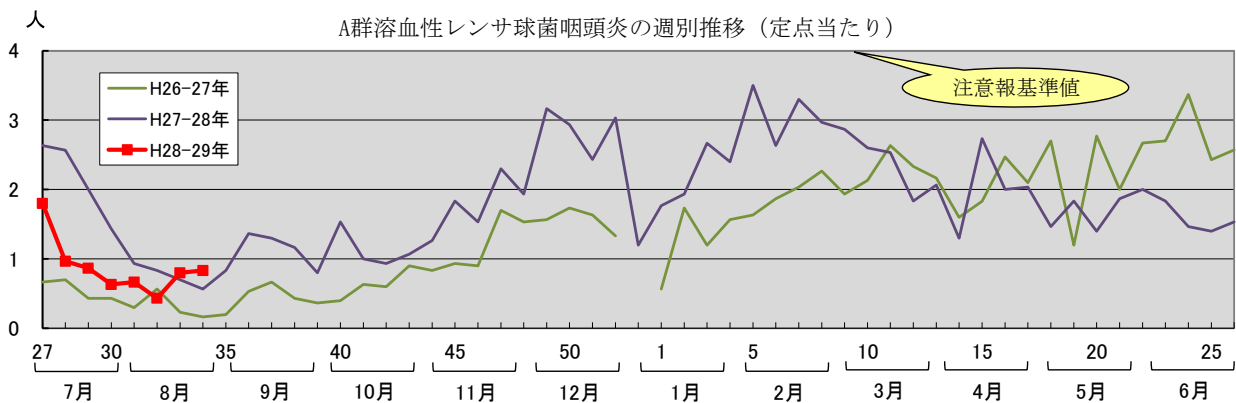
○手足口病 第34週： 0.33 (注意報値：2.00 警報値：5.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.33 (前週：0.17) と増加しています。中央西 1.00(前週：0.00)、中央東 0.43 (前週：0.29)、幡多 0.20 (前週：0.00) で増加しています。



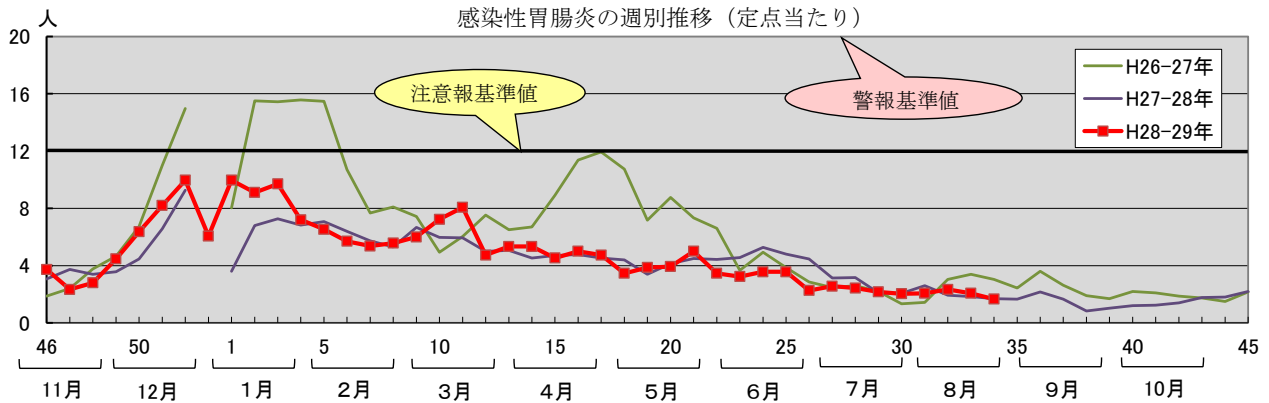
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 第34週：0.83 (注意報値：4.00 警報値：8.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.83 (前週：0.80) とほぼ横ばいですが、中央西 1.67(前週：0.33)、中央東 0.57 (前週：0.14) で増加しています。



○感染性胃腸炎 第34週： 1.67 (注意報値：12.00 警報値：20.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 1.67 (前週：2.07) と減少していますが、幡多 3.00 (前週：1.80)、安芸 2.00 (前週：1.50)、須崎 0.50 (0.00) で増加しています。



※グラフの途切れについて

H27-H28年は第53週までであるため、グラフ横軸に第53週を挿入しています。

そのため、H25-H26年とH26-H27年のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
34	感染性胃腸炎	1	男	幡多	Norovirus GII NT
34	百日咳	11	男	高知市	<i>Bordetella pertussis</i>
34	百日咳	9	男	高知市	<i>Bordetella pertussis</i>
34	百日咳 疑い	7	男	幡多	<i>Bordetella pertussis</i>

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
33	上気道炎	2	男	中央東	Cytomegalovirus

★全数把握感染症

第34週

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	86	30歳代女	高知市
		1	87	80歳代男	中央西
3類	腸管出血性大腸菌感染症	1	6	20歳代女	中央東
4類	日本紅斑熱	1	8	60歳代男	高知市
		1	9	80歳代男	安芸

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	あけぼのクリニック	マイコプラズマ感染症1例（9歳）
	いちはら内科小児科	感染性胃腸炎1例（8歳男：サルモネラ(+)赤痢(-)病原性大腸菌0-20)
	高知大学医学部附属病院小児科	ヒトメタニューモウイルス気管支炎1例（2歳女）
	早明浦病院小児科	頭ジラミ 保育園4歳児で流行中
	野市中央病院小児科	カンピロバクター腸炎1例（13歳男） マイコプラズマ肺炎4例（3歳男、4歳女、7歳男、10歳女）
高知市	けら小児科・アレルギー科	カンピロバクター＋病原性大腸菌0-1腸炎1例（7歳男）
		カンピロバクター腸炎1例（4歳男）
		病原性大腸菌0-111腸炎2例（3歳男、4歳男）
		アデノウイルス扁桃炎2例（1歳男、7歳男）
		マイコプラズマ肺炎3例（4歳男、8歳女、12歳男）
	細木病院小児科	カンピロバクター1例（4歳男）
		サルモネラ2例（11歳女、12歳男）
		無菌性髄膜炎1例（7歳男）
	福井小児科・内科・循環器科	非定型性肺炎1例（5歳女）
		アデノウイルス感染症2例（4歳男女）
		流行性耳下腺炎1例（8歳女：ワクチン未接種）
		伝染性紅斑（りんご病）2例（4歳男女）
		溶連菌感染症6例
帯状疱疹1例（10歳男）		
三愛病院小児科	マイコプラズマ気管支炎4例（2歳女、3歳男、4歳女、5歳女）	
高知医療センター小児科	RSウイルス感染症2例（3ヶ月男、5ヶ月男）	
	ヒトメタニューモウイルス感染症1例（7ヶ月男）	
	アデノウイルス1例（1歳女）	
中央西	くぼたこどもクリニック	感染性胃腸炎1例（2歳女：須崎市）
		手足口病1例（4歳女：四万十町）
	日高クリニック	ヒトメタニューモウイルス感染症1例（2歳男） アデノウイルス扁桃炎1例（3歳男）
須崎	もりはた小児科	マイコプラズマ肺炎1例（3歳男）
幡多	こいけクリニック	マイコプラズマ肺炎4例（3歳女、5歳男、6歳男と8歳女：兄弟）
	さたけ小児科	膿痂疹1例（4歳女）
	幡多けんみん病院小児科	ノロウイルス陽性2例（3歳男、59歳女）

■ジカウイルス感染症の定義と発生届について

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の施行令が一部改正され、平成 28 年 2 月 15 日からジカウイルス感染症が全数報告の対象となる四類感染症となりました。

診断した医師は直ちに最寄りの保健所又は福祉保健所に届け出ることをお願いします。

- 国立感染症研究所 ジカウイルス感染症のリスクアセスメント 2016 年 8 月 10 日更新

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/>

- 厚生労働省検疫所 海外感染症情報

<http://www.forth.go.jp/index.html>

- 外務省 海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

- 国立国際医療研究センター ジカ熱/ジカウイルス感染症 2016 年 8 月 30 日更新

<http://www.dcc-ncgm.info/topic/topic-ジカウイルス感染症/>

- ジカウイルス感染症 定義 (厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-04-44.html>

- ジカウイルス感染症 発生届様式 (PDF)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/pdf/01-04-44b.pdf>

- ジカウイルス感染症について (厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109881.html>

- 政府広報オンライン 何が危ない？どう防ぐ？ジカウイルス感染症 (ジカ熱) 予防のポイント

<http://www.gov-online.go.jp/useful/article/201605/2.html>

- オリンピック・パラリンピックでブラジルへ渡航される方へ

<http://www.forth.go.jp/news/2016/02051708.html>

- 外務省海外安全ホームページ シンガポールにおけるジカウイルス感染症の発生 2016 年 8 月 29 日更新

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/sp/info/pcspotinfo.asp?infocode=2016C229>

★全国情報

麻しん

平成 28 年 8 月 21 日千葉県健康福祉部疾病対策課の発表によると、松戸市内を中心に麻しん (はしか) の発生が続いており、松戸保健所管内の複数の医療機関から平成 28 年 7 月 22 日から平成 28 年 8 月 21 日までに感染症法の規定により、10 名の麻しん患者の届出がありました。

当該患者から検出されたウイルスは、海外由来の遺伝子型で塩基配列もほぼ一致しており、全員海外渡航歴はないため国内感染と考えられます。また、1 名を除いて予防接種歴はありませんでした。

2016 年 33 週にも全国で 13 件 (うち千葉県からは 6 件) の届出があり、2016 年 1~33 週の累計は 32 例となっています。

また、兵庫県西宮市保健所管内の麻疹発症中の 19 歳男性が 8 月 14 日に千葉県幕張メッセで開催されたコンサートに参加していたとの情報があり、独立行政法人国立国際医療研究センター病院国際感染症センター等が注意喚起を行っています。

発症 10 日以内に海外渡航歴があることから、こちらの症例は輸入感染例と考えられています。

8 月 26 日時点でこの成人男性の同居家族 4 名 (いずれも予防接種歴なし) の発症が確認され、保健所が接触者の健康観察等を行っているとのこと。

- 西宮市 健康 (保健所) 情報

http://www.nishi.or.jp/navi/ln_0006600165.html

さらに、8 月 30 日に関西国際空港内従業員が麻しんに感染及び、感染が疑われる事例が複数あり調査中との情報もあり、関西エアポート株式会社がホームページで 8 月 17 日以降に関西国際空港を利用した方を対象に注意喚起を行っています。

- 関西エアポート株式会社

<http://www.kansai-airports.co.jp/>

全国的に麻しんの報告が多い状態が続いていますので、引き続き注意してください。

麻しんは、発熱・咳・鼻水といった風邪のような症状の後、高熱と発疹が現れ、空気感染、飛沫感染、接触感染により感染し、その感染力は非常に強いと言われています。

発熱等の麻しんが疑われる症状が現れた場合は、医療機関に直ぐに受診をするのではなく、必ず事前にかかりつけ医等に電話連絡でその旨を伝え、指示に従い、医療機関を受診しましょう。

また、麻しんは予防接種が有効です。定期接種は対象年齢になったら確実に2回受けましょう。

○厚生労働省 麻しん（はしか）に関するQ&A

<http://www.mhlw.go.jp/qa/kenkou/hashika/index.html>

○国立感染症研究所感染症疫学センター 麻しんに関する緊急情報(2016年8月25日)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/id/655-disease-based/ma/measles/idsc/6709-20160825.html>

結核の集団感染について

千葉県船橋市及び市原市で結核の集団感染事例が計3件あり、現在、保健所が調査を実施しています。

結核の初期症状は、風邪とよく似ています。2週間以上咳が続くようでしたら、必ず医療機関を受診しましょう。早期発見・早期治療は本人の重症化を防ぐためだけでなく、大切な家族や職場等への感染の拡大を防ぐためにも重要です。

第32号（8月8日～8月14日）

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核321例

3類感染症：細菌性赤痢4例、腸管出血性大腸菌感染症142例

4類感染症：E型肝炎10例、A型肝炎1例、エキノコックス症1例、ダニ媒介脳炎1例、チクングニア熱1例、デング熱4例、日本紅斑熱5例、ボツリヌス症1例、ライム病1例、レジオネラ症23例

5類感染症：アメーバ赤痢12例、ウイルス性肝炎1例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症19例、急性脳炎9例、クロイツフェルト・ヤコブ病5例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、後天性免疫不全症候群14例、ジアルジア症1例、侵襲性インフルエンザ菌感染症4例、侵襲性肺炎球菌感染症19例、水痘（入院例に限る）1例、梅毒49例、播種性クリプトコックス症2例、破傷風1例、麻しん1例

報告遅れ：細菌性赤痢1例、E型肝炎1例、日本紅斑熱2例、レジオネラ症9例、レプトスピラ症1例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症16例、急性脳炎8例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症5例、水痘（入院例に限る）4例、梅毒33例、麻しん1例

.....

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第34週 平成28年8月22日(月)～平成28年8月28日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第34週							計	前週	全国(33週)	高知県(34週末累計) H28/1/4～H28/8/28	全国(33週末累計) H28/1/4～H28/8/21
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計					
インフルエンザ	インフルエンザ							1	1 (0.02)	()	92 (0.02)	14,927 (310.98)	1,583,111 (320.53)	
小児科	咽頭結核熱			13	8				21 (0.70)	24 (0.80)	1,181 (0.38)	274 (9.13)	46,936 (14.88)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		4	12	5	2		2	25 (0.83)	24 (0.80)	2,978 (0.97)	1,888 (62.93)	260,407 (82.56)	
	感染性胃腸炎	4	8	20	2	1		15	50 (1.67)	62 (2.07)	9,213 (2.99)	4,794 (159.80)	595,496 (188.81)	
	水痘		2	5		1			8 (0.27)	13 (0.43)	794 (0.26)	252 (8.40)	41,103 (13.03)	
	手足口病		3	3	3			1	10 (0.33)	5 (0.17)	1,538 (0.50)	247 (8.23)	23,118 (7.33)	
	伝染性紅斑				8				8 (0.27)	2 (0.07)	442 (0.14)	237 (7.90)	43,984 (13.95)	
	突発性発疹	1		7					8 (0.27)	11 (0.37)	1,420 (0.46)	339 (11.30)	49,512 (15.70)	
	百日咳			3					3 (0.10)	1 (0.03)	53 (0.02)	72 (2.40)	1,919 (0.61)	
	ヘルパンギーナ	1	2	3	5	1		4	16 (0.53)	20 (0.67)	4,521 (1.47)	671 (22.37)	90,785 (28.78)	
	流行性耳下腺炎		2	8	3			2	15 (0.50)	14 (0.47)	3,347 (1.09)	621 (20.70)	98,432 (31.21)	
RSウイルス感染症			9				1	10 (0.33)	11 (0.37)	1,170 (0.38)	626 (20.87)	30,106 (9.55)		
眼科	急性出血性結核炎								()	()	4 (0.01)	()	262 (0.38)	
	流行性角結核炎			1					1 (0.33)	()	535 (0.79)	12 (4.00)	15,474 (22.43)	
基幹	細菌性髄膜炎								()	()	9 (0.02)	6 (0.75)	304 (0.64)	
	無菌性髄膜炎			4					4 (0.50)	()	42 (0.09)	30 (3.75)	832 (1.76)	
	マイコプラズマ肺炎		1	4				1	6 (0.75)	9 (1.13)	415 (0.88)	178 (22.25)	9,533 (20.11)	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								()	()	7 (0.01)	26 (3.25)	230 (0.49)	
	感染性胃腸炎								()	1 (0.13)	5 (0.01)	234 (29.25)	5,011 (10.57)	
計 (小児科定点当たり人数)	6 (3.00)	22 (3.01)	100 (8.27)	26 (8.68)	5 (2.50)	27 (5.13)	186 (5.82)			27,766	25,434 (645.01)	2,896,555		
前週 (小児科定点当たり人数)	4 (2.00)	29 (4.15)	106 (9.18)	20 (6.67)	6 (3.00)	32 (5.40)			196 (6.25)					

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関)定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第34週							計	前週	全国(33週)	高知県(34週末累計) H28/1/4～H28/8/28	全国(33週末累計) H28/1/4～H28/8/21
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計					
インフルエンザ	インフルエンザ							0.13	0.02		0.02	310.98	320.53	
小児科	咽頭結核熱			1.18	2.67				0.70	0.80	0.38	9.13	14.88	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.57	1.09	1.67	1.00	0.40		0.83	0.80	0.97	62.93	82.56	
	感染性胃腸炎	2.00	1.14	1.82	0.67	0.50	3.00		1.67	2.07	2.99	159.80	188.81	
	水痘		0.29	0.45		0.50			0.27	0.43	0.26	8.40	13.03	
	手足口病		0.43	0.27	1.00		0.20		0.33	0.17	0.50	8.23	7.33	
	伝染性紅斑				0.73				0.27	0.07	0.14	7.90	13.95	
	突発性発疹	0.50		0.64				0.27	0.37	0.46	11.30	15.70		
	百日咳			0.27					0.10	0.03	0.02	2.40	0.61	
	ヘルパンギーナ	0.50	0.29	0.27	1.67	0.50	0.80		0.53	0.67	1.47	22.37	28.78	
	流行性耳下腺炎		0.29	0.73	1.00		0.40		0.50	0.47	1.09	20.70	31.21	
RSウイルス感染症			0.82			0.20		0.33	0.37	0.38	20.87	9.55		
眼科	急性出血性結核炎										0.01		0.38	
	流行性角結核炎			1.00					0.33		0.79	4.00	22.43	
基幹	細菌性髄膜炎										0.02	0.75	0.64	
	無菌性髄膜炎			0.80					0.50		0.09	3.75	1.76	
	マイコプラズマ肺炎		1.00	0.80			1.00		0.75	1.13	0.88	22.25	20.11	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)										0.01	3.25	0.49	
	感染性胃腸炎									0.13	0.01	29.25	10.57	
計 (小児科定点当たり人数)	3.00	3.01	8.27	8.68	2.50	5.13	5.82				645.01			
前週 (小児科定点当たり人数)	2.00	4.15	9.18	6.67	3.00	5.40			6.25					

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869